

2013年8月11日 主日礼拝（洗礼式・聖餐式）

プレイズ
奏 楽
賛 美 聖歌466番（あなたは愛されるため生まれた）
（主の前にひざまずき）

3つの愛
聖 書 マタイによる福音書 18章21～35節
音 楽 スペシャルサクソ演奏（岸先生）

メッセージ 「赦されても、赦さない人がいます
愛されても、愛さない人がいます」

岸義紘先生

賛 美 聖歌701番（献金）
頌 栄 主の祈り
祝 禱
聖餐式 「十字架の陰に」

「わたしがあわれんでやったように、
あの仲間をあわれんでやるべきではなかったか」
（マタイ一八の三十三）



畑の中の宝物

最近、1歳になる息子が階段を上られるようになった。初めて最上階まで上がった時、私が拍手し喜ぶと、自分でも拍手し喜んだ。その後は、親のすきを見ては山登りに励み、山上の世界を楽しんでいる。

世界が広がることは楽しいことだ。今まで体験したことのない世界を体験することは冒険でもありスリリングなことでもある。

最近思っていることは、クリスチャンとは苦しみから守ってくださいと祈るよりも、苦しみの中でもみ旨がなることを求める存在である、ということ。神と共に冒険の人生を送ることではないか、ということである。

先日の礼拝では「患難は忍耐を生みだし、忍耐は練達を生み、練達は希望を生み出す」との御言葉が語られた。弱い私たちは自ら、艱難や忍耐をしようとは望まない。でも御霊によって試練の中に導かれることがある。そのような時は、せっかくそこに導かれたのだから、そこからしか見ることでできない世界をしっかりと味わう時としたい。病気や失業、離婚や様々な危機、どれも味わいたくてもそう味わえるものではない。ならば、そのような世界をいっそのこと楽しんでしまおう。今の痛い経験はやがて役に立つ時が来る。希望につながるのだから。

「8月や、6日、9日、15日」（6日は広島、9日は長崎、15日は終戦の日）
被爆から68回目の追悼式典が長崎で行われた。

「日本政府に、被爆国としての原点に戻ることを求めます」。田上富久・長崎市長は平和宣言で2度繰り返した。原点とは何か？7月に亡くなった長崎の被爆者、山口仙二さんが82年国連で「ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」と訴えた。この訴えこそが、被爆国がよって立つべき原点である。（朝日新聞）

「過去に目を閉ざす者は、結局のところ現在にも盲目となります」。戦争体験記として書かれた「はだしのゲン」や映画「ガラスのうさぎ」をもう一度見ることも必要かもしれない。過去の患難を埋没させず、希望へつなげていきましょう。

大塚 信頼

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース：ローマ11章～15章 Bコース：詩篇90篇～108篇

【町田ニュース】

- ・ 午後のお茶会は分かち合いです。
- ・ 祈禱会は水曜7時半と木10時半（Y）。説教はオカムラ宣教師による特別メッセージ。
- ・ 金曜日、準備祈禱会は夜9時（Y）。説教は久保田伝道師。
- ・ 土曜4～6時は「リバイバル祈禱会」。静かな祈りの時間。途中参加可。
- ・ 大塚伝道師は本日夕方～水曜日まで、大和カルバリーの学生会キャンプの奉仕参加。熱中症から守られ、祝福されるようにお祈りください。
- ・ キャンプに参加された方はミニアルバムをお受け取りください。
- ・ 25日（日）、恒例の「流しそうめん大会」。爆笑漫才あり。森真兄が証。礼拝は大塚伝道師が説教。
- ・ 猛暑が続いています。熱中症にはくれぐれも注意しましょう。
- ・ 今週も通読表を用い、貪るように聖書を読みましょう。リビングライフも。